

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	介護計画作成にあたってサービス・支援がより具体的な内容となるよう、5W1Hを意識した支援内容の検討・作成する必要がある。	本人の思いを具体的に反映させた介護計画を作成し、援助内容がより確実に実行できる。	抽象的な表現を避け、援助内容を具体的に（何をするか）表現する。 担当者（誰が）を決め、頻度の欄には実現できる時間帯（いつ）を記入する。	12ヶ月
2	4	運営推進会議に交流のある飲食店やボランティア等の多様な方の参加があっても良い。	運営推進会議に金沢市や包括、近隣の住民、職員、家族などの固定されたメンバー以外の方にも参加していただく。	運営推進会議の内容に応じて、近隣の飲食店や宿泊施設、訪問看護ステーションなどにも案内を出す。	12ヶ月
3	6	身体拘束適正化委員会の議事録を整備されることを期待する。	議事録はすでに整備されており、第三者評価の席上で指摘された「身体拘束廃止委員会」を「身体拘束適正化委員会」と改名する。	「身体拘束廃止委員会」のファイルタイトルを「身体拘束適正化委員会」に変更し、会議名も次回より「身体拘束適正化委員会」とする。	1ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。